

# 中富記念くすり博物館だより



2023年12月1日発行 No.335

## 12・1月イベント情報

### ✔ フォトコンテスト2023秋・冬

薬木薬草園及び庭園の植物を撮影して応募しよう！選定はプロカメラマンが行い、入賞者には賞品を贈呈します。

開催期間：2024年1月8日(月・祝)まで



### ✔ 「見えないものを見ようとして

-顕微鏡が見つけた病-

企画展

本展では顕微鏡と顕微鏡が発見した病について紹介しています。



### ★SNSキャンペーン

オリジナルポストカードプレゼント

期間中に「#中富記念くすり博物館・#見えないものを見ようとして」をタグ付けし、SNSに投稿した方全員にオリジナルポストカードプレゼント♪

開催期間：2024年2月12日(月・祝)まで

### ✔ 冬の薬研体験

好きな香りの薬草(生薬)を選び、むかしのくすり作りの道具薬研を使ってオリジナルの香り袋を作りましょう！参加は無料です。※要入館料

日程：2024年1月13日(土)・14日(日)・27日(土)・28日(日)

### ↓ イベント詳細はこちら ↓



公式HP

Instagram

facebook

LINE@

## 薬草美術館 絵画の中の植物をご紹介します

1艘の舟が岩に囲まれた小島へと向かっています。船には白いフードを被った人物と棺、後ろには舟の漕ぎ手。空は暗く人の気配もなく、さらに画面中央にそびえ立つ黒いイトスギがより不穏な空気をおわせています。イトスギはギリシア神話の逸話から「死」の象徴とされる樹木で墓地にも植えられることから、島にある墓地へと死者を埋葬しに向かう様子を描いたとされます。この絵画は夫を亡くしたばかりの女性の「夫を偲ぶとき、夢を見せてほしい」という願いにより描かれ、完成した本作を大変気に入ったといいます。このような厭世観・無常観を漂わせた絵画は20世紀のドイツでは大変人気を博し、作者はこのモチーフを6年間にわたり何バージョンも描きました。しかし絵画に込められた本当の意味は語らず多くは謎のままで、現在でも様々な説がささやかれています。

## バイインマン 税込：880円

ミュージアム  
ショップ

誰とも被らないユニークなクリスマスギフトにオススメ！これは「バイイン!! マン」といい、吸盤がついた人型のおもちゃです。平らな場所でお腹を押して吸盤をつけると気まぐれなタイミングで“パンッ!!”と飛び跳ね、ご機嫌なときは2メートル近く上がります。いつ飛び跳ねるかわからないのでお腹を押した後はずっとハラハラドキドキ!人以外にも猫の形をした「バイイン!! キャット」もあり、これはやや前方に飛び上がります!!

一人または一匹ずつ跳ばすのはもちろん、一度に沢山跳ばすのも楽しいのでオススメです★



## 年末年始休館日のお知らせ

2023年12月29日(金)～  
2024年1月4日(木)

1月5日(金)より通常開館します。  
お間違いのないようご注意ください。



アルノルト・ベックリン《死の島》  
バーゼル美術館(スイス)1880年